

(7) 糖尿病

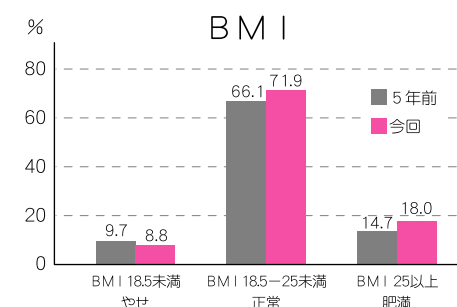
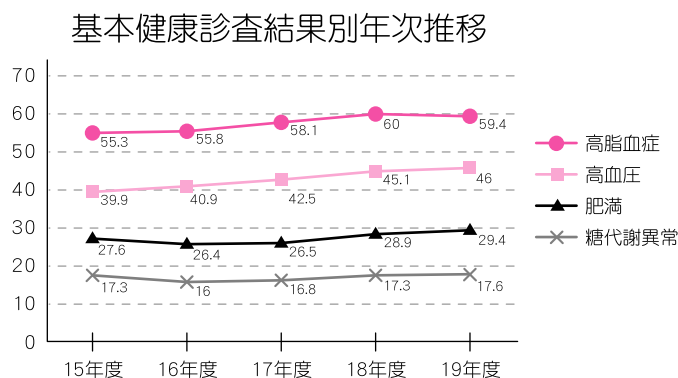
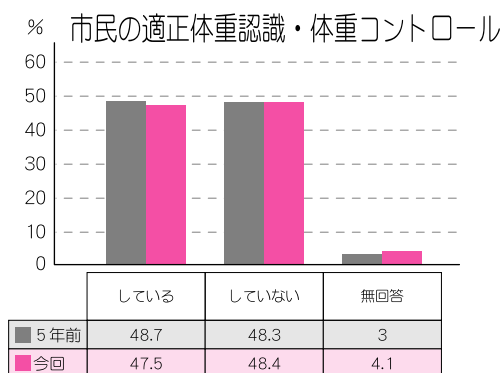
糖尿病は、生活習慣や社会環境の変化によって急速に増加しています。そして、生活習慣との関連が深く、治癒しにくく、放置により合併症（網膜症・神経症状・腎障害）を引き起こします。さらに脳血管疾患・虚血性心疾患の発症にもつながり医療経済的負担も大きく発症の予防・早期発見・合併症の予防が重要です。

◎評価可能項目 10 ★目標達成した項目 0 (0%) ★改善した項目 3 (30%)
★改善しなかった項目 7 (70%)

指標	対象	計画策定時 (2002年)	中間評価時 (2007年)	結果(ポイント)	目標値(2012年)	達成度	県直近値			
健康指標	基本健康診査の糖代謝異常所見者率の減少	40歳以上	15.4% (2001年)	17.6% (2007年)	-2.2	15% 以下	改善せず	—		
		市民	全体	14.7%	18.0%	-3.3	13% 以下	改善せず	—	
	男子		20.3%	23.0%	-2.7	15% 以下	改善せず	—		
BMI 25以上の肥満の市民の減少	市民	男子	11.1%	全体	14.2%	-3.1	6% 以下	改善せず	—	
行動指標	年1回の定期的健康診断を受診する市民の増加	市民	全体	68.9%	全体	71.9%	3	74% 以上	改善	—
			男性	73.3%	男性	76.7%	3.4	78% 以上	改善	—
			女性	65.9%	女性	68.3%	2.4	70% 以上	改善	—
	適正体重の認識と体重コントロールを実践する市民の増加	市民	全体	48.7%	全体	47.5%	-1.2	59% 以上	改善せず	—
			男性	44.6%	男性	43.1%	-1.5	55% 以上	改善せず	—
			女性	52.5%	女性	50.8%	-1.7	63% 以上	改善せず	—

達成度 **…P<0.01 *…P<0.05

指標	対象	計画策定時 (2002年)	中間評価時 (2007年)	最終目標 (2012年)	特記事項	
環境指標	健康教室	市民	高脂血症予防教室 (3回×2) 生活習慣病予防教室 (5回×5) 高血圧予防教室 (3回)	総合教室「いきいき健康講座」に変更 (カードバイキング実習を導入) (3回×4)	一般向け健康教室年3~5回	
		健康診査	40歳以上の市民	基本健康診査受診率57%	61.9% (目標60%以上:達成)	特定健康診査 (以降特定健診と表記) 実施率45% (対象者: 瀬戸市国保加入者)
		30歳代女性	女性の健康診査実施 (10回)	女性の健康診査実施 (10回)	形態を変更しながら継続実施	



血糖値が高い糖代謝異常の人はほぼ横ばいです。これ以上増えないことが重要!

全体的に肥満の人が増加傾向にあります!

今後の課題

1. 市民に対して、個人に応じた適正体重等の正しい知識の普及に努める必要があります。

取り組みの方向

◆健康指標

- ・肥満者（BMI 25以上）の市民を13%以下を目標に減少します。

◆行動指標

- ・適正な糖尿病の知識を様々な機会を通じて得るようにします。
- ・栄養成分表示を参考にし、栄養バランスをとるようにします。
- ・過食を避け適正な食事摂取を身につけます。
- ・適正体重の維持に努めます。
- ・年1回の健康診断を受けます。
- ・糖尿病予備軍は発症を予防するようにします。
- ・糖尿病合併症の予防に努めます。
- ・特定保健指導の該当になった場合は積極的に参加します。

◆環境指標

- ・適正な栄養知識や生活習慣等を普及啓発します。
- ・希望者に個別健康相談を実施します。
- ・市の関係部所では、必要な者に適切な教室を実施します。
- ・糖尿病やその予備軍が相談できる受け入れ体制を整えます。
☆瀬戸市 ☆瀬戸保健所 ☆医療機関
- ・食生活改善推進活動を推進し食生活に関する支援をします。
- ・特定健診・特定保健指導において、その勧奨に努めます。